

美術館 ニュース 群馬の森

no. 200
2025 4/1

20世紀イタリアの巨匠

マリノ・マリーニ

新収蔵の版画作品を中心に MARINO MARINI Print Works

2025年4月19日[土] - 6月8日[日]

会場：展示室 1

休館日：毎週月曜日（ただし5月5日は開館）、5月7日（水）

開館時間：午前9時30分 - 午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料：一般 600 (480)円、大高生 300 (240)円

*（ ）内は20名以上の団体割引料金

*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

イタリア中部の古都ピストイアに生まれたマリノ・マリーニ (Marino Marini, 1901-1980) は、古代ローマ以前に栄えたエトルリア文明が生み出した素朴で力強い造形に大きな影響を受けました。豊かな自然の恵みを女性像に表した「ポモナ」の連作や、人類の悲劇的な姿の象徴として暴れる馬に振り落とされそうになる騎手をかたどったシリーズなどにより、20世紀を代表する彫刻家の一人として評価されています。

当館では令和6年度、群馬県伊勢崎市出身の個人コレクターから、マリーニの版画146点、挿絵本1点、テンペラ画1点、彫刻2点、合計150点の作品を一括してご寄贈いただきました。新たに収蔵されたこのコレクションの全貌を紹介する初めての機会となる本展では、最初期の繊細な銅版画から晩年の色鮮やかなリトグラフまで各年代にわたる充実した版画コレクションを中心に、絵画と彫刻を加えたおよそ150点の作品を一堂に展示します。平面と立体を縦横に行き来しながら多彩に展開したマリーニ作品の豊かな世界を、どうぞお楽しみください。

【関連イベント】

記念講演会「イタリア美術史のなかのマリーニ」(仮)

講師：金井直氏(信州大学人文学部教授)

5/17(土) 14:00~15:30 当館2F講堂 定員100名(先着順) [要観覧券・申込不要]

学芸員による作品解説会

4/26(土)、5/29(木) 各日14:00~15:00 展示室内 [要観覧券・申込不要]



1



2



3



4

- 1 《ポモナのための習作》 1944年 リトグラフ
- 2 《色彩から形へ！》 1969年 リトグラフ
- 3 《奇跡》 1970年 エッチング
- 4 《小さな奇跡》 1951年 ブロンズ

群馬青年ビエンナーレ50周年記念特別賞 締め切り迫る！

2001年から25年までの群馬青年ビエンナーレで入選・入賞した方を対象に、現在応募受け付け中です。

受賞者(1名)には、2026年に当館で個展を開催していただきます。

*応募方法など詳細は当館ホームページをご覧ください。

主催：群馬県立近代美術館

協賛：株式会社バッファロー代表取締役社長 牧 寛之

審査員：沢山 遼 (美術批評家/武蔵野美術大学准教授)、田口美和 (タグチアートコレクション共同代表)、田中龍也 (群馬県立近代美術館学芸員)、田中 仁 (ジンスホールディングス代表取締役 CEO)、牧口千夏 (京都国立近代美術館主任研究員)、森 啓輔 (千葉市美術館学芸員) ※50音順・敬称略

*応募受付は2025年4月20日(日)まで



令和6年度 新収蔵作品介绍

令和6年度は、基金購入作品10点にご寄贈いただいた326点を合わせ、336点の作品が新たに収蔵されました。これらの作品は、近代美術館がこれまで歴史を刻む中で、作品あるいはご所蔵者とさまざまな縁が生まれ、収蔵が実現したものばかりです。過去に当館で開催した展覧会に出品された作品、長く寄託という形で預けていただきコレクション展示に活用している作品、中には遺贈という形で、ご所蔵者の遺志

を継いだご遺族の理解のもとに収蔵に至ったものもあります。また今回は、長年購入を希望していた石内都の写真作品の収蔵が実現した上、作者からの寄贈作品も加わりました。県ゆかりであるばかりでなく今や世界で活躍する作家の作品を故郷で所蔵し紹介できるのは幸いといえるでしょう。

今年度、作品は企画展やコレクション展示で順次紹介していきます。

分類	作者名	作品名	制作年	技法・材質	収蔵方法
日本画	海北友松	《平沙落雁図》	桃山時代	紙本墨画・一幅	板垣憲子氏寄贈
	狩野尚信	《朝陽図》	江戸時代	紙本墨画・一幅	山鹿英助氏寄贈
	椿椿山	《歳寒三友図屏風》	嘉永4（1851）	絹本墨画淡彩・二曲一隻	山鹿英助氏寄贈
油彩その他	鶴岡政男	《母性》ほか 全21点	1937/1962	油彩・カンヴァス	飯田勲氏遺贈
	マリノ・マリーニ	《騎手》	1955	テンペラ・カンヴァス	須田昭夫氏寄贈
パステル	鶴岡政男	《南方の櫛》ほか 全5点	1964	パステル・紙	飯田勲氏遺贈
水彩・素描	長谷川潔	《水浴の少女と魚》ほか 全4点	1925頃	鉛筆、水彩・紙	須田昭夫氏寄贈
版画	長谷川潔	《運河》ほか 全121点	1914	板目木版・紙	須田昭夫氏寄贈
	マリノ・マリーニ	《夏》ほか 全146点	1920-21頃	エッチング・紙	須田昭夫氏寄贈
	マリノ・マリーニ	挿絵本『マリノの間近に』	1971刊行	エッチング、アクアチント・紙	須田昭夫氏寄贈
写真	石内都	《mother's #5》ほか 全10点	2001	ゼラチンシルバープリント	購入
	石内都	《mother's #6》ほか 全21点	2001	ゼラチンシルバープリント	作者寄贈
彫刻・立体	分部順治	《男》	1939	石膏、着色	群馬県企業局寄贈
	マリノ・マリーニ	《小さな奇跡》	1951	ブロンズ	須田昭夫氏寄贈
	マリノ・マリーニ	《軽業師》	1953	ブロンズ、着色	須田昭夫氏寄贈



左から
 鶴岡政男《三匹の墓》1966年 飯田勲氏遺贈
 長谷川潔《アカリヨムの前の草花》1969年 須田昭夫氏寄贈
 石内都《mother's#60》2005年 作者寄贈

学校団体での美術館利用について

当館では、子どもたちが生涯にわたって美術鑑賞を楽しめるようになることを願い、学校団体向けのさまざまな作品鑑賞プログラムを実施しています。

館内で行う「アートツアー」では、アートカードを使って作品の見方や感じ方を広げ、少人数のグループごとに本物の作品を前に美術館スタッフと対話しながら鑑賞します。また「自由鑑賞」も滞在時間に合わせてご利用いただけます。

平日の来館予約は、インターネットからも可能になりました。電話またはインターネットにてお申し込みください。

「出張授業」では、当館所蔵作品の複製を使った鑑賞授業を実施しています。複製画ポスターを活用した「移動美術館」や、和の作品制作の導入として掛け軸を使った鑑賞授業など、先生方のご希望やご相談に応じて柔軟に行っています。

派遣費用はかかりませんので、お気軽にご利用ください。お申し込みは電話にて承ります。

お問い合わせ：群馬県立近代美術館 教育普及係 TEL 027-346-5560（館代表）／FAX 027-346-4064



美術館見学：アートツアーの様子



出張授業例：視覚に頼らず、友だちの言葉を通じて作品を感じるインクルーシブな鑑賞（アイマスク使用）



[展示室 2・6]

■日本と西洋の近代美術 I 4/19～7/6

印象派のルノワールやモネ、エコール・ド・パリのローランサンやフジタに加え、ピカソやデュフィなどの西洋近代絵画を展示します。また、山口薫や鶴岡政男など群馬ゆかりの作家をはじめ、明治・大正・昭和を代表する作家による日本近代絵画も展示します。

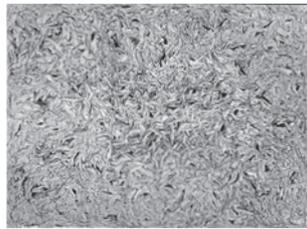


山口薫《花子誕生》1951年

[展示室 3]

■現代の美術 I 4/19～7/6

多彩な表現による 20世紀後半以降の美術を紹介します。



李禹煥《風より》1986年

コレクション展示

[展示室 4・5]

■人のすがた 4/19～7/6

古代、出征する恋人の影を松明の光で壁に写し、その輪郭を線でなぞったのが肖像画のはじまりとする説があります。以来、人間は飽くことなく人の姿を描き、彫り続けてきました。写実表現の到達点としての人のすがたをお楽しみください。

分部順治《座婦》1963年



[展示室 7 (山種記念館)]

■院展ゆかりの画家たち 4/19～6/1

■時のうつろい 6/3～7/6

「院展ゆかりの画家たち」では日本美術院ゆかりの画家たちの多彩な作品を、「時のうつろい」では季節や時間、その移り変わりを感ぜられる作品を、令和6年度新収蔵作品である海北友松《平沙落雁図》、狩野尚信《朝陽図》、椿椿山《歳寒三友図屏風》の3点とともにご紹介します。

海北友松《平沙落雁図》 桃山時代
(令和6年度新収蔵作品)

M u s e u m | N e w s

◆◆令和7年度 継続・新規会員募集中◆◆

友の会は、会費や館内ショップの利益を活用し、近代美術館を支援している団体です。会員には県内5つの美術館の観覧料の減免等、様々な特典があります。是非この機会にご入会ください。

■会員の種類と年会費 [有効期間は 4/1～翌年 3/31]

一般会員：2,500円／学生会員 1,000円

家族会員：[同居 2人分] 3,500円 (3人以上は 1人につき 1,000円追加)

個人賛助会員：[一口] 10,000円／法人賛助会員 [一口] 20,000円

※郵便料金等の値上げにともない一般会員と家族会員の年会費を改定しました。

■観覧料が減免となる美術館

群馬県立近代美術館・群馬県立館林美術館 [両館あわせて年間 2回無料、ほか半額]

高崎市美術館・高崎市タワー美術館・高崎市山田かまち美術館 [団体割引|相当額]

■主な事業

* 展覧会・教育普及事業・広報への支援・協力のほか、講演会やコンサート等を開催。

* 会報の発行、ミュージアム・ツアーなど、会員のための事業を実施。

◆ミュージアムショップより

* 展覧会カタログの通信販売を行っております。申込方法など詳しくは美術館HPの利用
案内>ショップ>主要商品>ショップ通信販売をご確認ください。

* 店頭ではクレジット・電子マネー決済をご利用いただけます。

* 友の会への入会受付、会員証の発行もしております。

Museum : Shop

令和6年度 秋のミュージアム・ツアー
東京都現代美術館にて

お問い合わせ：群馬県立近代美術館 友の会 TEL 027-346-5560 (館代表) / FAX 027-346-4064

友の会だより

椿 椿山(1801-1854)は江戸時代後期に活躍した南画家。享和元(1801)年、幕府槍組同心の子として江戸に生まれた。父の職を継ぎながら絵や塾で生計を立て、後に画業に専念する。はじめは金子金陵に入門し、後に谷文晁にも師事。文化14(1817)年、金陵没後は同門の渡辺崋山を慕って入門し、崋山の高弟として広く知られた。崋山の画風を継承しつつ、得意の花鳥画では中国画家・惲南田(寿平)などの没骨技法をより強く取り入れて柔らかさと華やかさを加えたと評されている。

《歳寒三友図屏風》は、雪の積もった松、竹、梅、そして松の幹に隠れて身を寄せ合う番の雀が、墨色を基調とした落ち着いた色彩で描かれる。中国において冬の厳しい寒さの中でも青々と色を変えない松と竹、他より先んじて蕾をつけ薫り高く咲く梅は「歳寒三友」と呼ばれ、厳しい環境でも志高く、清廉潔白な姿が文人の理想と合致し、画題として好まれた。日本においてもその思想に加えて松竹梅の吉祥の意味も含み、盛んに描かれている。ぱっと目をひく緑の葉や白く可憐に咲く花がアクセントになるとともに、枝葉の重なりを細やかな濃淡で表現し、モチーフ同士の奥行と空間の広がりを演出している。また、勢いがありながらも丁寧な墨線と柔らかな色面で描かれた松や雪の描写は、凜とした佇まいと冬曇りの空を感じさせ、51歳の椿山の円熟した筆遣いをみせる。

款記「嘉永辛亥長至日擁爐寫」より嘉永4(1851)年の冬至に制作されたこと、また付属する画料證書から、佐羽淡斎とも関わり深い桐生の絹買商・稲垣幸右衛門の注文だったことがわかる。注文制作の実態を示すとともに、群馬にとって非常に縁深い貴重な作品である。なお本作品は、令和6年度、ご厚意により寄贈の申し出を受けて新収蔵となったうちのひとつである(2頁参照)。これまでも長い間寄託いただき、館内外の多くの展覧会で活用されてきたが、寄贈によって未来へ作品が繋がり、展示、研究でのより一層の活用が見込まれよう。改めて本作品はじめ、これまで多くの貴重な作品を寄贈して下さった皆様に感謝の意を表したい。



椿椿山《歳寒三友図屏風》嘉永4(1851)年
絹本墨画淡彩・二曲一隻屏風
154.0×154.0cm 山鹿英助氏寄贈
※令和6年度新収蔵作品

この作品は、コレクション展示「時のうつろい」[展示室7(山種記念館)6/3~7/6]で展示します。

次回展覧会案内

THE 16TH GUNMA BIENNALE FOR YOUNG ARTISTS 群馬青年ビエンナーレ 2025

2025年7月19日[土] - 8月24日[日]

会場：展示室1

休館日：毎週月曜日(ただし7月21日、8月11日は開館)、7月22日(火)

開館時間：午前9時30分 - 午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料：一般500(400)円、大高生250(200)円

*()内は20名以上の団体割引料金

*中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

若 い世代を対象とした全国公募の展覧会です。本展の前身である「群馬青年美術展」は、群馬県立近代美術館の開館から間もない1976年にはじまりました。1991年に「群馬青年ビエンナーレ」と改称し隔年開催となり、2001年からは募集範囲を全国へと拡大、今回で16回目の開催となります。

1月8日に締め切りを迎えた今回の募集には、244組から342点の応募がありました。現代美術の第一線で活躍される5名の審査員による審査を経て、44組44点の入選が決まりました。6月に搬入される入選作品の中から受賞作品を決定し、展覧会では入選・入賞作品を展示します。平面、立体、映像、インスタレーションなどさまざまな手法で自身の「今」と向き合い、表現の可能性を探る若手アーティストたちの作品をご覧ください。



群馬青年ビエンナーレ2021 展示風景

